

# 市議会 あんな話・いんな話

第4話

## 「任期最長の議長」

明治22年（1889）に鹿児島市会が誕生してから、今日まで多くの議長が登場しましたが、その中で任期最長記録を持つのは、同25年2月、第5代市会議長となった染川權輔氏です。その任期は通算18期、17年3カ月に及びました。

染川氏は嘉永6年（1853）西田町で生まれ、24歳の時の明治10年に西南戦争が起こると、薩軍に身を投じましたが、足に銃創を受けて重傷を負い、これがもとで足が不自由になりました。元気になるに銀行等にも勤務しましたが、同22年に市制が敷かれ初の市会議員選挙が実施されると、立候補して当選しました。ときに36歳のことでした。翌年には早くも市会副議長に推されるほどであった染川

氏は「開明の人」でもありません。明治の末期、電車事業をめぐる鹿児島市当局と市会が議論に議論を重ねているのにたまりかね、鹿児島電気軌道株式会社の創立発起人代表となって、大正元年に電車を走らせました。この電気軌道がのちに市電となるのです。つまり染川氏は、市電の生みの親ともいべき人物でもあったのです。今年12月1日には、鹿児島市に電車が登場して、ちょうど100年を迎えます。



染川權輔氏